申請年月日	2026年9月23日 12時12分	
1　受付NO	9	
2　団体名	ああ99ビビ	
3　代表者	ふりがな	ヤスモト　マサコ
	肩書・氏名	康本　　雅子
4　申請事業名	子どもどるダンス部	
5　事業目的	色々な特性のある子どもを混ぜて行うコンテンポラリーダンスのワークショップを通じて、子どもの主体性や創造性、他者への理解や共感力を育むとともに、言葉を介さずに他者とコミュニケーションすることの大切さ、奥深さを伝えることを目的とする。	
6　事業対象・定員・参加者数	対象 小学生から高校生までの子ども　定員 20　人　参加者数 25　人	
7　実施日時	令和8年9月19日（土）10時～11時30分・1回	
8　実施場所	吉祥寺北コミュニティセンター	
9　参加料徴収の有無	無　円	

10　事業内容		武蔵野市の体育館にて、ファシリテーター 中村理が、参加者の子ども及び保護者等に対して、通常のワークショップのように言葉による指示を主に行うのではなく、身体言語によるコミュニケーションを基底としたワークショップを実施した。 ファシリテーター略歴： 1987年、神奈川県生まれ。2009年、和光大学表現学部芸術学科卒業。 油絵を描いていた在学中に身体表現と出会い、ソロ作品等を多数発表しながら様々な振付家・演出家の作品に出演。 2017年より振付家 田畑真希主宰「タバマ企画」に参加。その中で、島根県民会館インクルーシブシアター・プロジェクトに参加し、視覚障害を持つ出演者との制作を経て、個人の持つ身体の歴史から生まれる豊かなダンスに大きな影響を受ける。 その他、NHK Eテレの番組やMV・ライブ、ことば遊びの体操や演劇作品等にも出演し、ジャンルの枠に囚われず活動を続けている。 2020年から、イラストレーターとしても活動しており、様々な振付家が独自に行うWS内容について、ダンサーの視点からイラストと言葉を交えて幅広い層へ伝える為のプロジェクト等に参加する。 2022年、高知県吾川郡いの町にて土佐和紙未来プロジェクト実行委員会主宰公演にWS講師として参加。俳優・ダンサー・書家というジャンルの異なるアーティスト三名による5日間のワークショップを経て子ども達が出演する舞台作品の制作・発表を行う。 日常の営みの中で育まれた個人の身体、目に見えるもの・見えぬものの手触りや重さ、色、形、音、時間。誰もが持ち得る”カラダの記憶”から、個人の生き抜く力の可能性を探り続けている。
11　募集方法		事前申込：有、申込方法（メール、Peatix）
12　広報方法		ああ99ビビ公式Instagramにて告知。
13　成果・効果		技術を教え込むダンスではなく、中村理のファシリテーションのもとで子どもたちが自らの身体の動きを発見していくワークショップを展開した。最初は戸惑いや恥ずかしさを見せていた子どもたちが、徐々に自分の感覚を解放し、空間全体で表現を楽しむようになっていく様子が見受けられた。また見学していた保護者や地域住民に対しても「子どもの無限の可能性や表現力を間近で体感する」という学びをおくる場となった。
14　学びおくりあいアンケート回答者人数		3　人
15　学びおくりあいアンケート集計結果	今日学んだことを誰かに伝えたいと思いますか	とても　3　人 まあまあ　0　人 あまり　0　人 どちらでもない　0　人 ぜんぜん　0　人 未回答　0　人